

交通安全対策については、警察や交通安全協会と連携し、飲酒運転の根絶と交通ルールの遵守に向けた広報啓発活動に取り組み、交通安全意識及びマナーの向上に努めます。また、本年度は「うるま市交通安全計画」を作成し、本市の区域内における道路交通の安全を図ります。

防犯対策については、市民と行政が連携し、防犯活動の展開や防犯協会を中心とした協働体制の強化を図ります。また、県が推進する「ちゅらさん運動」を、警察や民間団体、学校、市民一体となって取り組み、犯罪防止に努めます。

基地問題については、市民の生命、財産及び安全な生活環境を守る立場から、ホワイト・ビーチへの原子力潜水艦の寄港や嘉手納飛行場からの航空機騒音など、基地から派生する諸問題や事件・事故の再発防止等、過重な基地負担の軽減を求めています。

また、国に対しては、引き続き関係機関と連携し「日米地位協定」の抜本的な見直しを強く訴えます。

行政改革については、行財政の健全化を維持するとともに、国の地域主権改革や県からの権限移譲に対応し、住民福祉の向

上が図られるよう、行政経営能力を高めなくてはなりません。そのため、第2次行政改革大綱に掲げている、「市民の視点に立った行政サービスの推進」、「市民とのパートナーシップによる行政運営の構築」、「行政経営の視点に立った市政運営の推進」という3つの視点に基づき、実施計画を推進してまいります。

人事行政については、急激な社会変化と多様化する住民ニーズに対応できるよう、「人材育成基本方針」に基づき各種研修を実施し、職員の資質向上と能力開発に取り組みとともに、職員の健康管理に留意し、職場環境づくりに努めます。また、勤務規律の徹底を図り、適正配置等の人事管理を引き続き行います。

統合庁舎建設については、現在、「うるま市統合庁舎基本構想」を策定しております。平成23年度は新たに「庁舎建設室」を設置し、庁舎建設に向け、基本設計に取り組みます。

市民課の窓口サービスについては、業務の一部民間委託を各支所でも実施するとともに、本庁においては本年度、新たに旅券申請受付業務を開始します。

また沖縄特殊戸籍の電算化に取り組みるとともに、平成24年度の住民基本台帳法改正に伴い、外国人住民基本台帳に関するシステムの改修に取り組み、さらなる市民サービスの向上に努めます。

市税については、最も重要な自主財源であることから、適正かつ公平な課

税に努めます。徴収においては、安定的な現年度分徴収の向上に取り組むとともに、県税事務所と連携し滞納処分強化を図り、滞納繰越額の縮減と徴収率の向上など本市財源の適正確保に努めます。



市民課窓口の様子

また、市税に関する利便性の向上を図るため、電子申告システムを推進するほか、軽自動車税については、本年度から便利でより身近に税を納めることができるコンビニ納税を開始してまいります。

以上、平成23年度の市政運営にあたり、私の所信と予算案、主要事業の概要について述べてきました。本年度は沖縄の将来を左右する転機の年であるとともに、地域主権改革による一括交付金の導入や地方自治法改正が検討されているなど、地方自治は転換期を迎えようとしています。

沖縄の先人たちは、時代の荒波を「知恵」と「行動力」で乗り越え、アジア諸国との交流を進め大交易時代を築きました。今私たちに求められているのは、まさにその「知恵」と「行動力」であります。本市には豊かな伝統文化や地域資源があります。「知恵」と「行動力」で豊かな資源を生かし、地域の活性化に努めたいと考えております。

結びに、私はこのような変革期においても、社会経済情勢の変化に的確に対応し、市民生活の安定と安心を図るため、全力で市政運営に取り組んでまいります。

市議会並びに市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げ、私の施政方針といたします。

平成23年2月23日

うるま市長 島袋 俊夫

「東日本大震災義援金箱設置」

うるま市役所では市役所各庁舎へ義援金箱を設置いたしました。ご協力いただいた義援金は健康支援課にて日本赤十字社沖縄県支部へ送金致します。

【募金箱設置箇所】

- 健康福祉センターうるみん 健康支援課窓口
- うるま市役所 本庁1階 総合案内窓口
- 〃 〃 石川庁舎1階 市民課窓口
- 〃 〃 勝連庁舎1階 市民課窓口
- 〃 〃 与那城庁舎1階 市民課窓口

◆お問い合わせ◆

健康支援課 (健康福祉センターうるみん3階)

☎ 098-973-3209